

○ 統計



I 火災

火災の種別

火災種別	摘 要
建物火災	建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
林野火災	森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
車両火災	自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
船舶火災	船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
航空機火災	航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
その他の火災	上記火災以外の火災をいう。

令和7年中の火災概要

佐賀広域消防局管内における令和7年中の火災発生件数は105件で、前年より15件増加した。

火災種別ごとにみると、建物火災が58件(前年比;+12)、林野火災2件(前年比;-2)、車両火災9件(前年比;-2)、船舶火災1件(前年比;+1)、航空機火災0件(前年比;±0)、その他の火災35件(前年比;+6)となった。

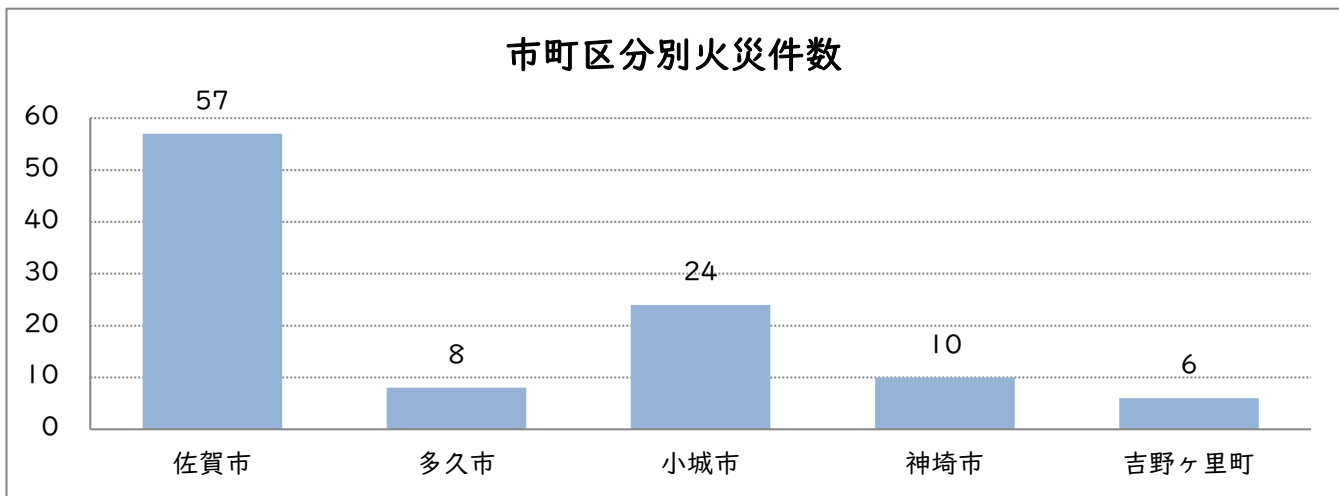
出火原因の第1位は「たき火」で14件(13.33%)、次に「たばこ」が8件(7.62%)、次いで「こんろ」が7件(6.67%)、「火入れ」が6件(5.71%)、「排気管」が5件(4.76%)となった。

火災による死者は3名(前年比;-1)、負傷者は14名(前年比;-2)となった。

火災発生状況

令和7年中

区分		市 町					計	
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町		
火災 件 数	火災 種 別	建 物	33	3	13	6	3	58
		林 野	1		1			2
		車 両	4		5			9
		船 舶	1					1
		航空機						0
		その他	18	5	5	4	3	35
		爆 発						0
	計		57	8	24	10	6	105
焼 損 棟 数	火 元	全 焼	7	2	7	2	1	19
		半 焼	2					2
		部分焼	10		1	2	1	14
		ぼ や	14	1	5	2	1	23
	棟 類	全 焼	1	2	3			6
		半 焼			1			1
		部分焼	3	1	3		1	8
		ぼ や	6		9	1		16
計		43	6	29	7	4	89	
罹 災 世 帯	全 損	1	3	6	1	1	12	
	半 損						0	
	小 損	16	2	7	1	2	28	
	計	17	5	13	2	3	40	
罹 災 人 員	人 員	47	5	45	6	7	110	
	死 者	1	1	1			3	
	負 傷 者	7	1	4		2	14	



月別原因別火災発生状況

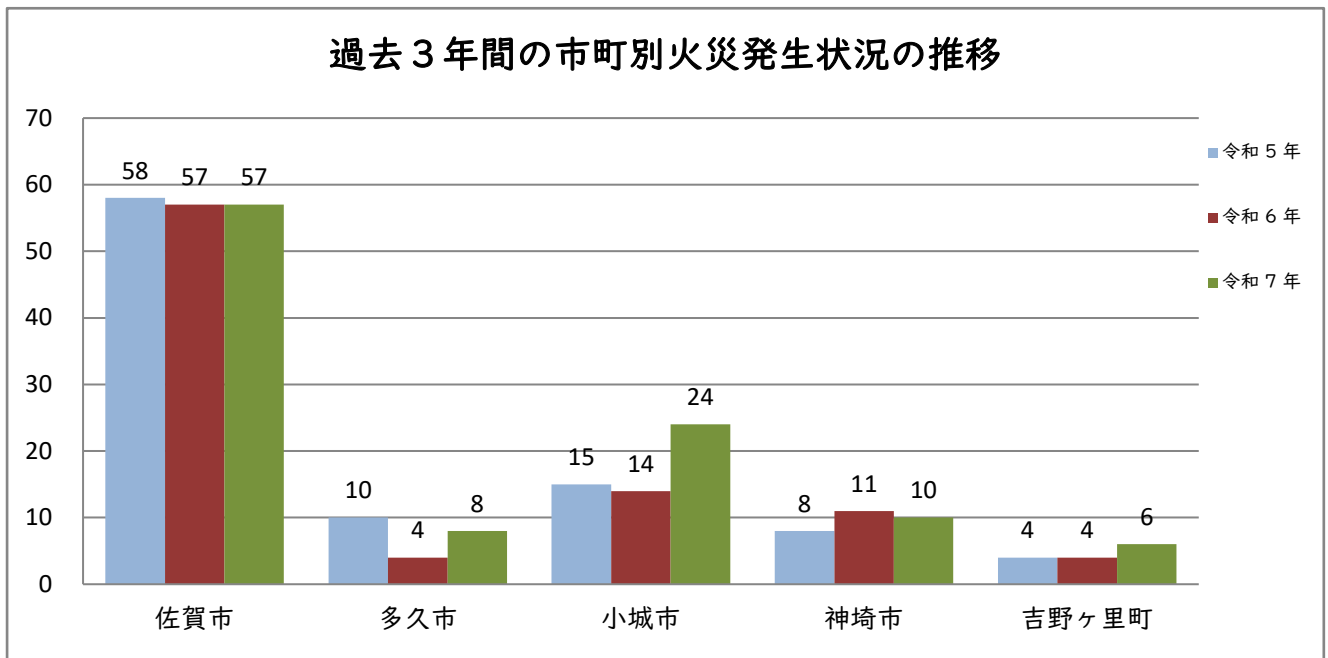
令和7年中

原因 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
たばこ				2				3		2		1	8
こんろ	1			1				1	2	1		1	7
かまど				1									1
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ											1		1
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道						1							1
排気管			1		1	1				1	1		5
電気機器				1									1
電気装置											1		1
電灯・電話配線			1			1	1			1			4
内燃機関							1						1
配線器具									1			3	4
火遊び		1								1	2		4
マッチ・ライター													
たき火	2			4		2	1	2		2	1		14
溶接機・切断機												1	1
灯						1							1
衝突の火花					1								1
取灰													
火入れ	1		1					1		1	2		6
放火		1			1								2
放火の疑い			1		1		1	1					4
その他	1	1	4		2	3	3	1	3	2	3	2	25
不明	4			1	1		4	1		1	1		13
計	9	3	8	10	7	9	11	10	6	12	12	8	105

※「その他」には、雷、自然発火及び輻射熱によるものが含まれる。

過去3年間の火災発生状況

年・種別		市町	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	計
令和5年	火災種別	建物	32	3	9	4	2	50
		林野	4	1				5
		車両	4	1	1	2		8
		船舶						
		航空機						
		その他	18	5	5	2	2	32
		爆発						
計	火災発生件数		58	10	15	8	4	95
	死者の数		3		1			4
令和6年	火災種別	建物	30	1	7	6	2	46
		林野	3		1			4
		車両	5		2	3	1	11
		船舶						
		航空機						
		その他	19	3	4	2	1	29
		爆発						
計	火災発生件数		57	4	14	11	4	90
	死者の数		2		2			4
令和7年	火災種別	建物	33	3	13	6	3	58
		林野	1		1			2
		車両	4		5			9
		船舶	1					1
		航空機						
		その他	18	5	5	4	3	35
		爆発						
計	火災発生件数		57	8	24	10	6	105
	死者の数		1	1	1			3



過去3年の火災原因

年	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位					
令和 5 年	電灯・ 電話配線	11	たばこ	9	こんろ	8	火入れ	7	排気管 電気機器 電気装置 マッチ・ ライター	3
令和 6 年	火入れ	14	電灯・ 電話配線	7	たき火	5	電気機器	4	ストーブ 放火の疑い	3
令和 7 年	たき火	14	たばこ	8	こんろ	7	火入れ	6	排気管	5

※「たき火」、「火入れ」について

屋外における焼却行為のうち、ゴミや枯草などを一箇所に集めて焼却することを「たき火」、
地面に生えたままの下草などを焼却すること（野焼き）を「火入れ」として区分している。

II 救急

救急事故の種別

事故種別	摘要
火災事故	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
水難事故	水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
労働災害事故	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
運動競技事故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者。審判員及び関係者等の事故（ただし観覧中のものが直接に運動競技用具等によって負傷した場合は含み、競技場の混乱による事故等は含まない）をいう。
一般負傷事故	他に分類されない不慮の事故をいう。
加害事故	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自損行為事故	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急病事故	疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
その他	転院搬送、医師、看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のものをいう。

令和7年中の救急出動概要

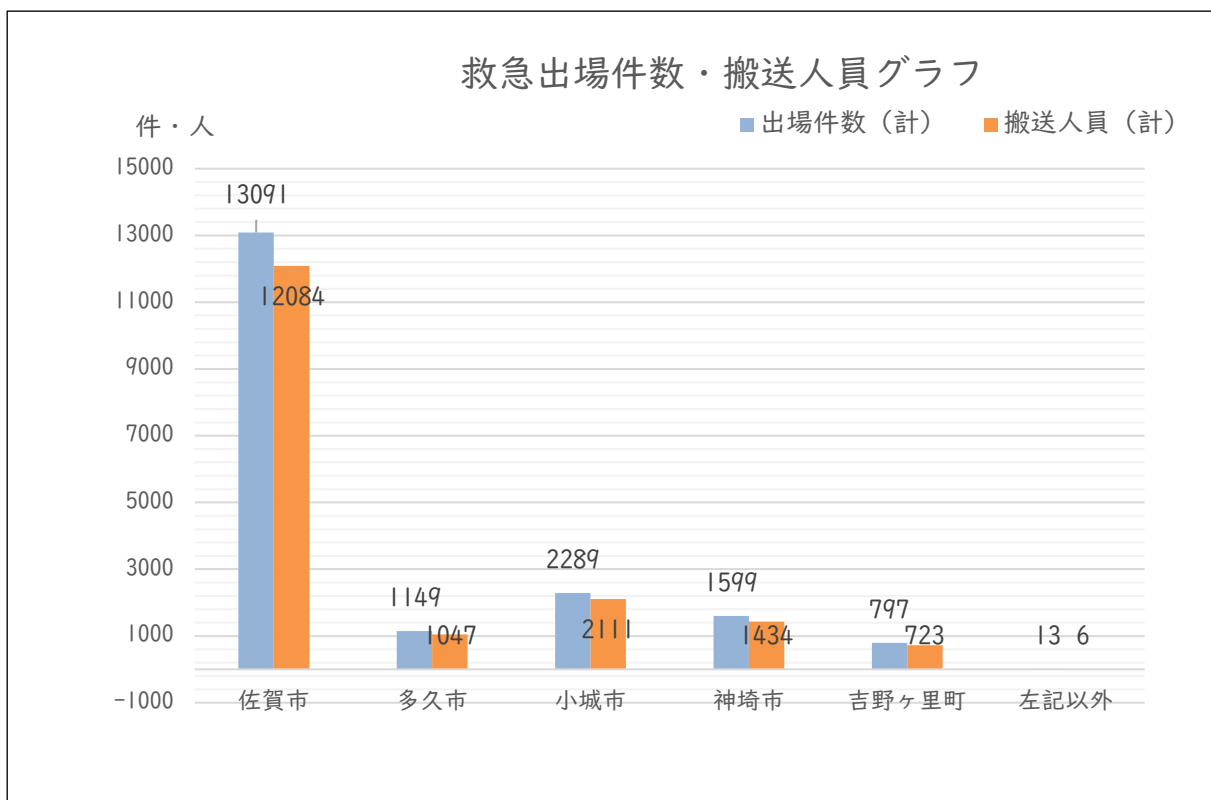
令和7年中における救急出場件数は、18,938件（前年18,692件）、搬送人員は、17,405人（前年17,218人）で、前年に比べ出場件数が246件増、搬送人員は187人増となっています。

事故種別でみると、「急病」が11,189件（59.1%）、次いで「一般負傷」2,744件（14.5%）、「その他（転院搬送）」2,545件（13.4%）、「交通事故」1,204件（6.4%）となっています。

事故種別救急出場件数・搬送人員

令和7年中

市町		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	計
種別								
火災	災	45	13	39	9	9	1	116
自然災害		3				1		4
水難		6			4			10
交通		832	66	123	107	68	8	1,204
労働災害		98	11	19	14	8		150
運動競技		125	13	25	14	3	1	181
一般負傷		1,875	165	346	241	117		2,744
加害		39	3	4	3	1		50
自損行為		123	7	12	10	9		161
急病		7,714	675	1,332	994	472	2	11,189
その他	転院	1,850	161	285	156	93		2,545
	医師							0
	資器材							0
	その他	381	35	104	47	16	1	584
出場件数(計)		13,091	1,149	2,289	1,599	797	13	18,938
傷病程度	死	191	23	40	22	15		291
	重	1,198	93	200	136	60		1,687
	中	6,362	545	1,035	785	365	4	9,096
	軽	4,333	386	836	491	283	2	6,331
	その他							0
搬送人員(計)		12,084	1,047	2,111	1,434	723	6	17,405
不搬送		1,476	30	50	70	34	7	1,667

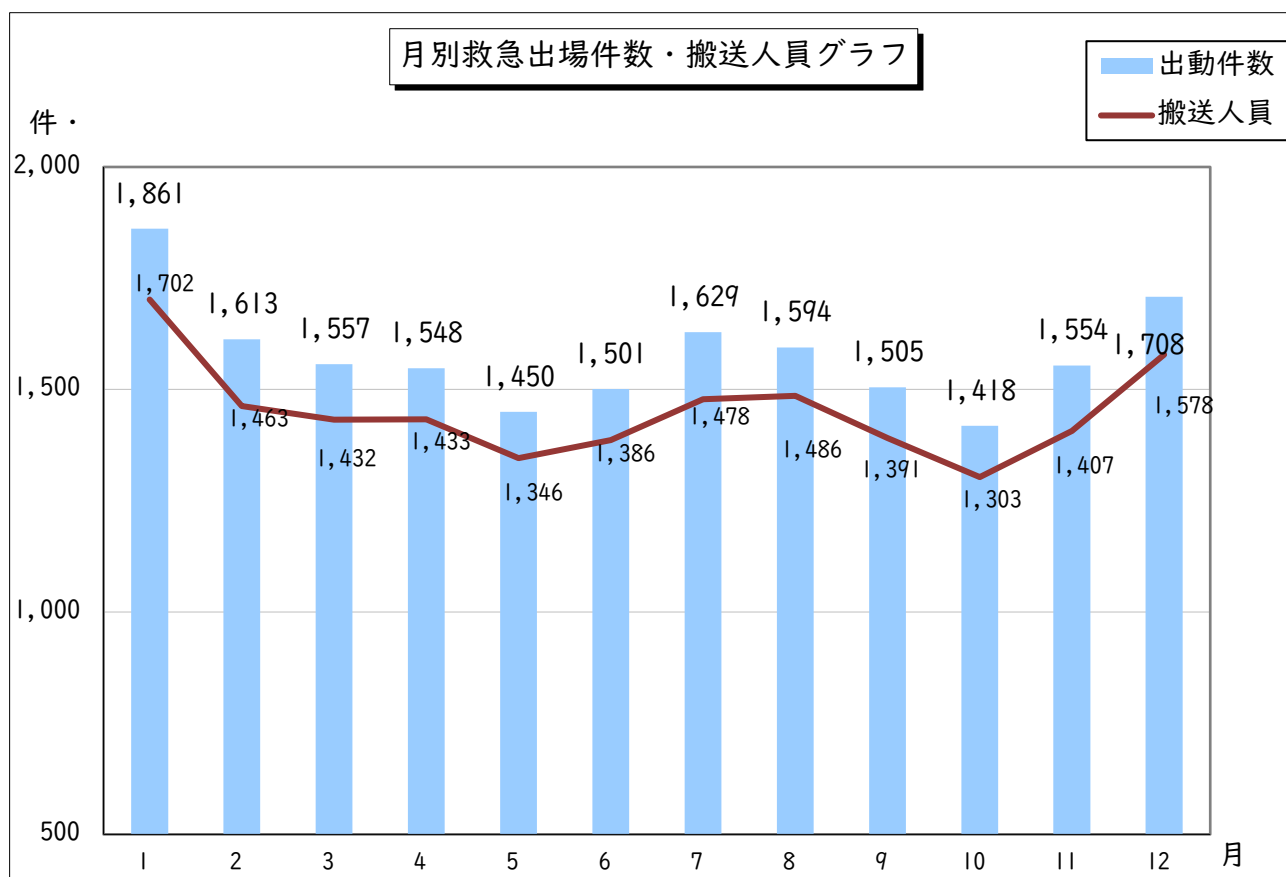


月別救急出場件数・搬送人員

令和7年中

市町 月	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
1月	1,266	106	229	180	80		1,861
	1,163	95	210	159	75		1,702
2月	1,145	86	197	125	59	1	1,613
	1,044	77	179	109	53	1	1,463
3月	1,102	88	184	118	64	1	1,557
	1,009	84	169	111	58	1	1,432
4月	1,054	89	185	150	70		1,548
	975	83	171	142	62		1,433
5月	998	94	172	114	71	1	1,450
	933	81	161	105	65	1	1,346
6月	1,034	84	213	104	64	2	1,501
	954	78	197	95	61	1	1,386
7月	1,129	115	209	119	56	1	1,629
	1,031	103	187	106	51		1,478
8月	1,057	111	200	147	76	3	1,594
	990	100	185	136	74	1	1,486
9月	1,020	95	185	140	65		1,505
	943	91	173	126	58		1,391
10月	970	90	178	121	56	3	1,418
	902	86	168	100	47		1,303
11月	1,109	95	166	122	62		1,554
	1,003	81	154	111	58		1,407
12月	1,207	96	171	159	74	1	1,708
	1,137	88	157	134	61	1	1,578
計	13,091	1,149	2,289	1,599	797	13	18,938
	12,084	1,047	2,111	1,434	723	6	17,405

※上段は出場件数、下段は搬送人員を示す。

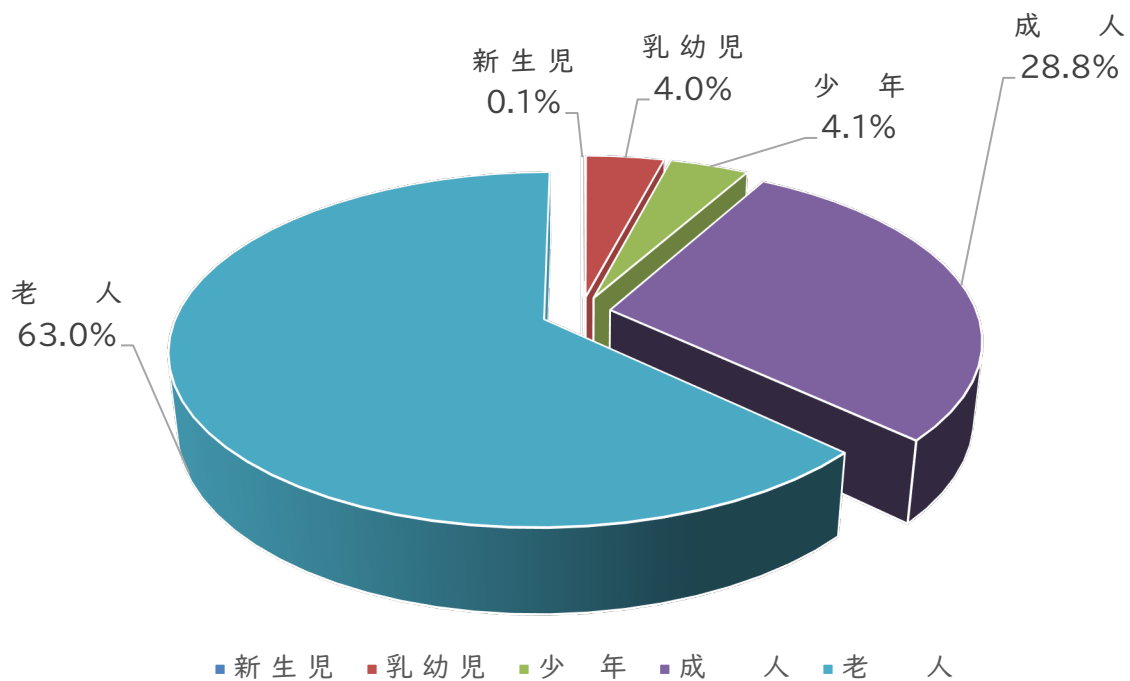


年齢別搬送人員

令和7年中

市 町 年 齡	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
新生児 生後 28日以内	7			2	1		10
乳幼児 29日以上 7歳未満	476	23	107	45	51		702
少年 7歳以上 18歳未満	485	39	96	62	29		711
成人 18歳以上 65歳未満	3,620	255	504	380	246	6	5,011
老人 (65歳以上)	7,496	730	1,404	945	396		10,971
計	12,084	1,047	2,111	1,434	723	6	17,405

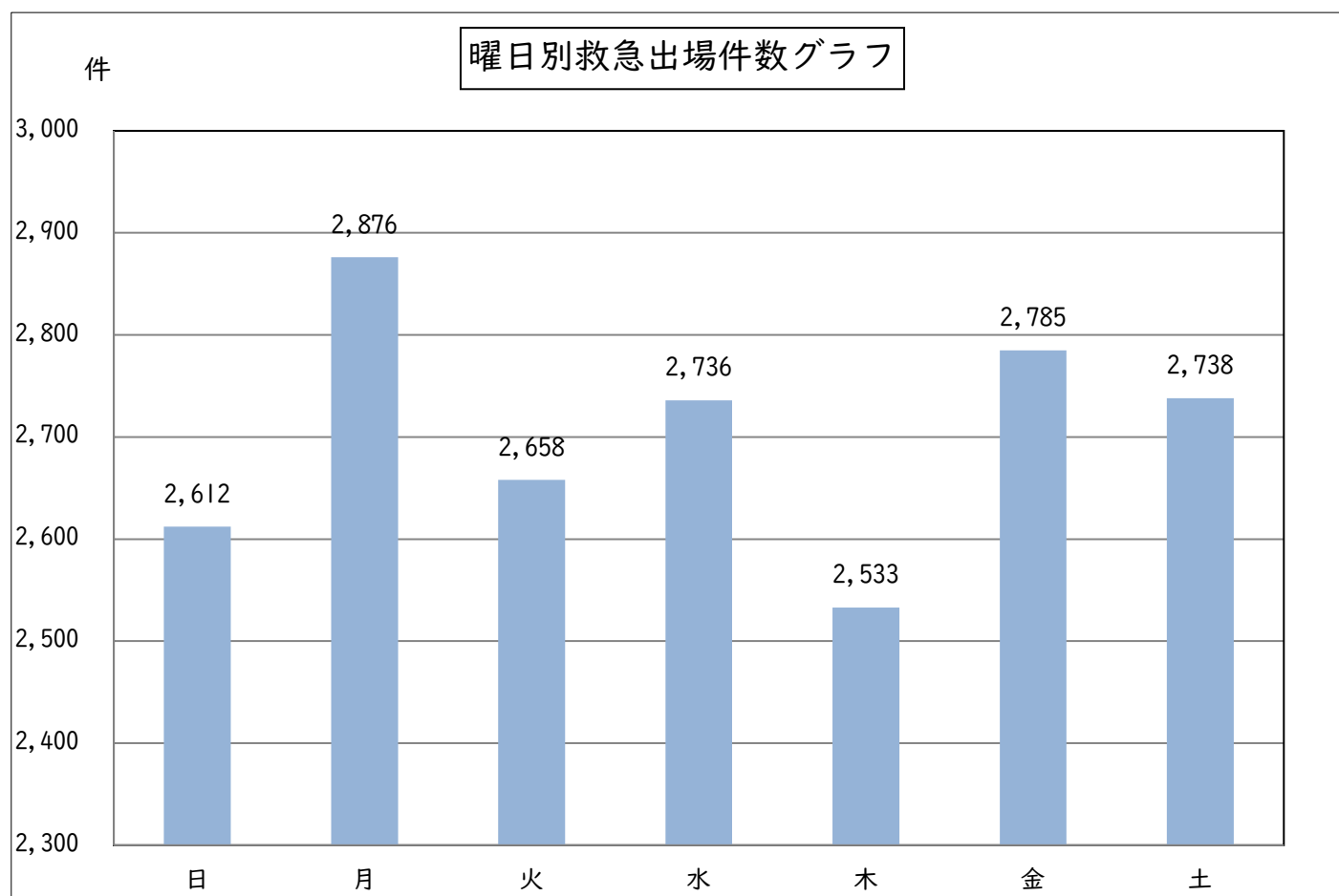
年齢別搬送人員とその割合グラフ



曜日別救急出場件数

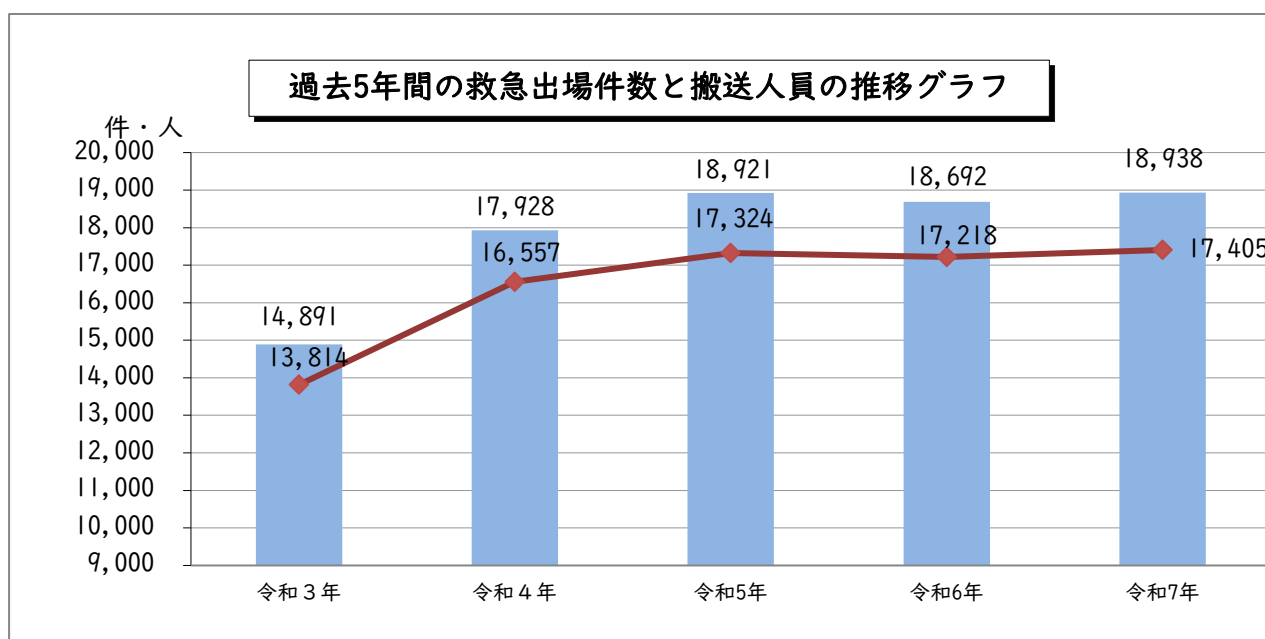
令和7年中

市町 曜日	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
日	1,802	136	313	239	120	2	2,612
月	1,970	175	385	222	123	1	2,876
火	1,881	178	275	214	105	5	2,658
水	1,881	185	316	245	107	2	2,736
木	1,742	147	323	219	102		2,533
金	1,924	162	333	247	118	1	2,785
土	1,891	166	344	213	122	2	2,738
計	13,091	1,149	2,289	1,599	797	13	18,938



過去3年間の救急出場件数

年・種別		市 町						計
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	
令和5年	火災	62	12	22	12	5	1	114
	自然災害	14		1				15
	水難	5	2	2				9
	交通	907	74	140	120	50	5	1,296
	労働災害	76	12	18	30	8		144
	運動競技	131	6	15	9	4		165
	一般負傷	1,532	159	283	195	63		2,232
	加害	40	2	3	2	3		50
	自損行為	88	5	15	15	5		128
	急病その他	7,803	691	1,468	949	483	5	11,399
計	2,541	154	359	190	125		3,369	
計	出場件数	13,199	1,117	2,326	1,522	746	11	18,921
計	搬送人員	12,030	1,022	2,170	1,398	697	7	17,324
令和6年	火災	60	5	19	20	9	4	117
	自然災害	8	1	2	1	1		13
	水難	11		1	2			14
	交通	908	41	139	146	74	42	1,350
	労働災害	86	6	34	24	7		157
	運動競技	149	10	30	8	5		202
	一般負傷	1,630	150	259	186	101	1	2,327
	加害	34	1	6	1	2		44
	自損行為	89	5	20	11	6		131
	急病その他	7,712	663	1,314	985	519	14	11,207
計	2,282	130	390	216	110	2	3,130	
計	出場件数	12,969	1,012	2,214	1,600	834	63	18,692
計	搬送人員	11,953	947	2,072	1,437	771	38	17,218
令和7年	火災	45	13	39	9	9	1	116
	自然災害	3				1		4
	水難	6			4			10
	交通	832	66	123	107	68	8	1,204
	労働災害	98	11	19	14	8		150
	運動競技	125	13	25	14	3	1	181
	一般負傷	1,875	165	346	241	117		2,744
	加害	39	3	4	3	1		50
	自損行為	123	7	12	10	9		161
	急病その他	7,714	675	1,332	994	472	2	11,189
計	2,231	196	389	203	109	1	3,129	
計	出場件数	13,091	1,149	2,289	1,599	797	13	18,938
計	搬送人員	12,084	1,047	2,111	1,434	723	6	17,405



Ⅲ 救助

救助事故の種別

事故種別	摘要
建物火災	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
建物火災以外	林野、車両、航空機その他の火災において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
水難事故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
風水害等自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
機械による事故	エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
建物等による事故	建物、門、柵、塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
ガス及び酸素事故	一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
破裂事故	火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。ただし、瞬間的な燃焼現象である混合ガス爆発、ガスの分解燃焼、粉塵爆発などの化学的变化による爆発は、火災として扱う。
その他の事故	前に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。（出動したが誤報、いたずらであった場合も該当する。）

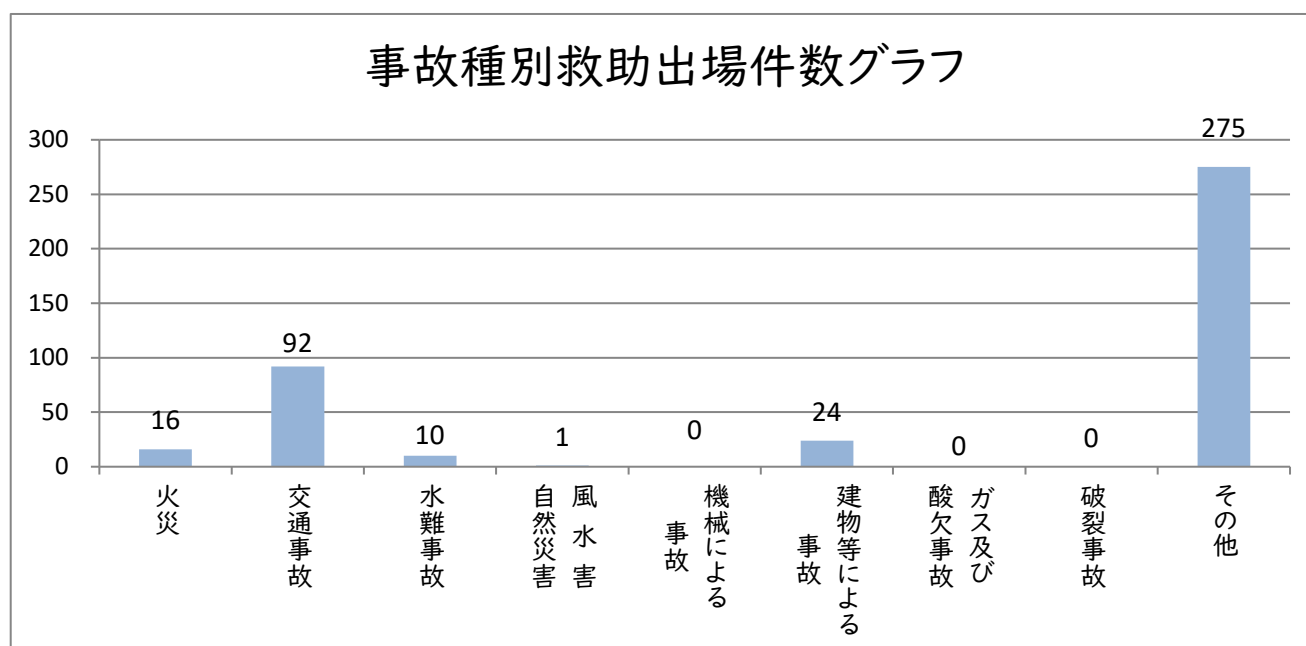
令和7年中の救助出動概要

- 令和7年中の救助出動件数：418件（前年比：+36件）
- 事故種別ごとの内訳
 - ① 「その他の事故」：275件（66%）
 - ② 「交通事故」：92件（22%）
 - ③ 「建物等による事故」：24件（6%）
 - ④ 「建物火災」：16件（4%）
 - ⑤ 「水難事故」：10件（2%）
 - ⑥ 「風水害当自然災害」：1件

市町別事故種別救助出動件数・救助人員

令和7年中

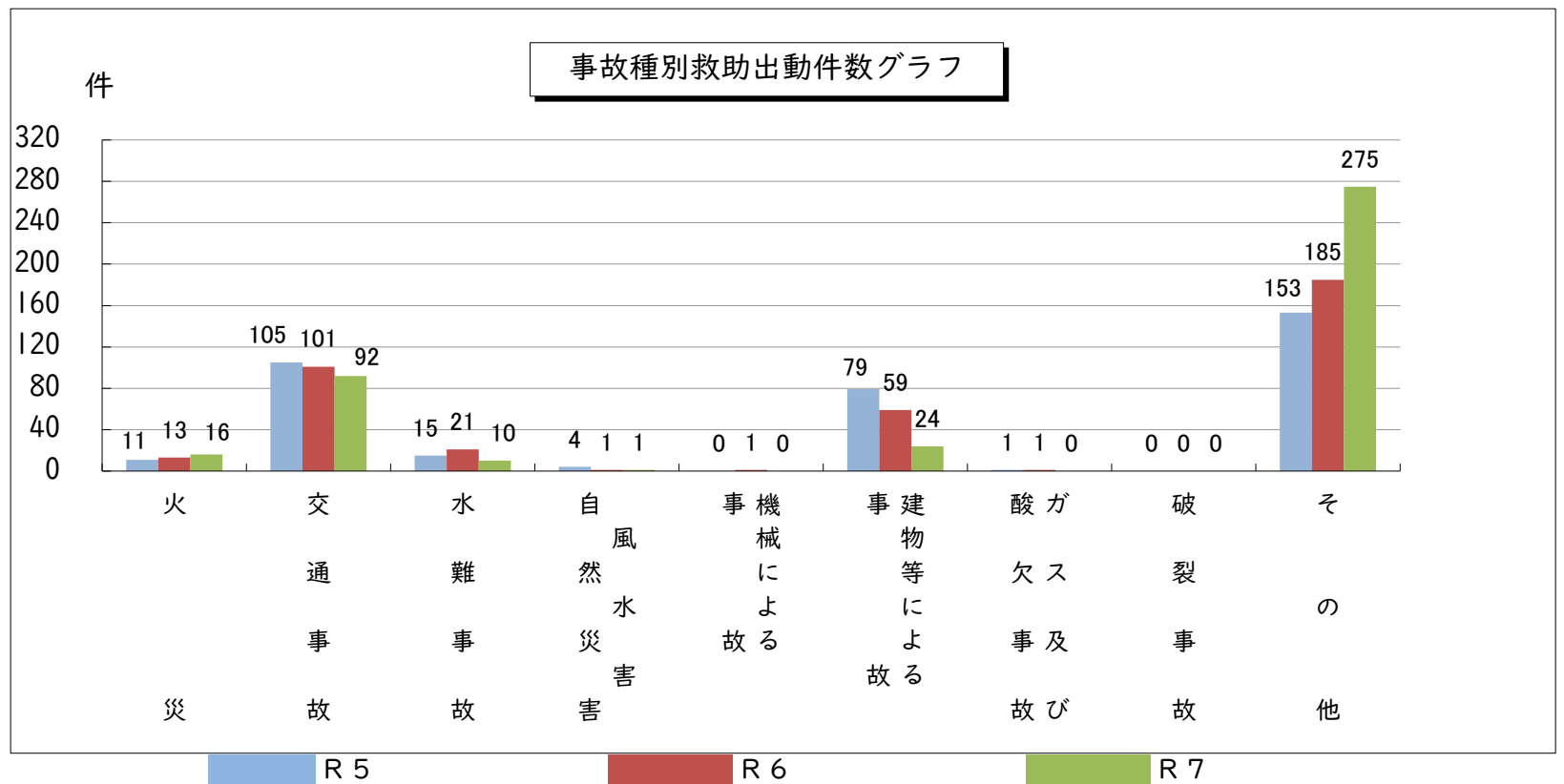
事故種別		市 町						合計
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	
火 災	出動件数	8	1	7				16
	救助人員	1		2				3
交 通 事 故	出動件数	36	10	10	8	7	21	92
	救助人員	21	6	4	4	3	15	53
水 難 事 故	出動件数	9			1			10
	救助人員	3			1			4
風 水 害 自 然 災 害	出動件数	1						1
	救助人員							0
機 械 に よ る 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	16	2	3	2	1		24
	救助人員	10	2	3	1	1		17
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
破 裂 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
そ の 他	出動件数	179	24	29	18	12	13	275
	救助人員	82	11	15	10	6		124
合 計	出動件数	249	37	49	29	20	34	418
	救助人員	117	19	24	16	10	15	201



過去3年間の事故種別救助出動件数

事故種別		令和5年							令和6年							令和7年							
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	
火災	出動件数	5	1	2	2	1		11	8		3	2			13	8	1	7					16
	救助人員	3		1				4	5		2				7	1		2					3
交通事故	出動件数	45	10	22	12	2	14	105	44	4	5	14	11	23	101	36	10	10	8	7	21	92	
	救助人員	29	8	9	7	1	5	59	22	4	1	10	9	3	49	21	6	4	4	3	15	53	
水難事故	出動件数	10	1	2	1	1		15	17		1	3			21	9			1			10	
	救助人員							0	6		1	3			10	3			1			4	
風水害 自然災害	出動件数	3				1		4	1						1	1						1	
	救助人員							0							0							0	
機械による 事故	出動件数							0			1				1							0	
	救助人員							0			1				1							0	
建物等による 事故	出動件数	67		5	6	1		79	45	2	6	6			59	16	2	3	2	1		24	
	救助人員	35		2	3	1		41	30	1	2	4			37	10	2	3	1	1		17	
ガス及び 酸欠事故	出動件数						1	1			1				1							0	
	救助人員						1	1							0							0	
破裂事故	出動件数							0							0							0	
	救助人員							0							0							0	
その他	出動件数	99	11	18	15	5	5	153	107	17	28	17	7	9	185	179	24	29	18	12	13	275	
	救助人員	46	10	12	10	4		82	67	9	14	12	3	1	106	82	11	15	10	6		124	
計	出動件数	229	23	49	36	11	20	368	222	23	45	42	18	32	382	249	37	49	29	20	34	418	
	救助人員	113	18	24	20	6	6	187	130	14	21	29	12	4	210	117	19	24	16	10	15	201	

※ 上段は出動件数、下段は救助人員を示す。



IV 警戒

警戒出動の種別

災害種別	摘要
油漏えい	交通事故等により、ガソリンなどの油類の危険物質が漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
ガス漏えい	都市ガス、プロパンガス、その他の引火性又は有毒性のガスが漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
火災警報器等発報	火災等の発生により、火災警報器等が発報したことを覚知した場合の出動をいう。
救急活動支援	救急車出動時の消防隊による活動支援のための出動をいう。
その他	前に掲げるもののほか、次の出動をいう。 <ul style="list-style-type: none"> ・台風、大雨等の自然災害により人命に危険が予想される場合の出動 ・ドクターヘリ等の場外離発着時における危険排除のための出動 ・火災と紛らわしい発煙を覚知した場合の出動

令和7年中の警戒出動概要

- 令和7年中の警戒出動件数：2,637件（前年比：-373件）
 ○災害種別ごとの内訳
- ① 救急活動支援：2,107件（79.90%）
 - ② 火災報知器等発報：233件（8.84%）
 - ③ その他：251件（9.52%）
 - ④ 油漏えい：42件（1.59%）

事故種別警戒出動状況

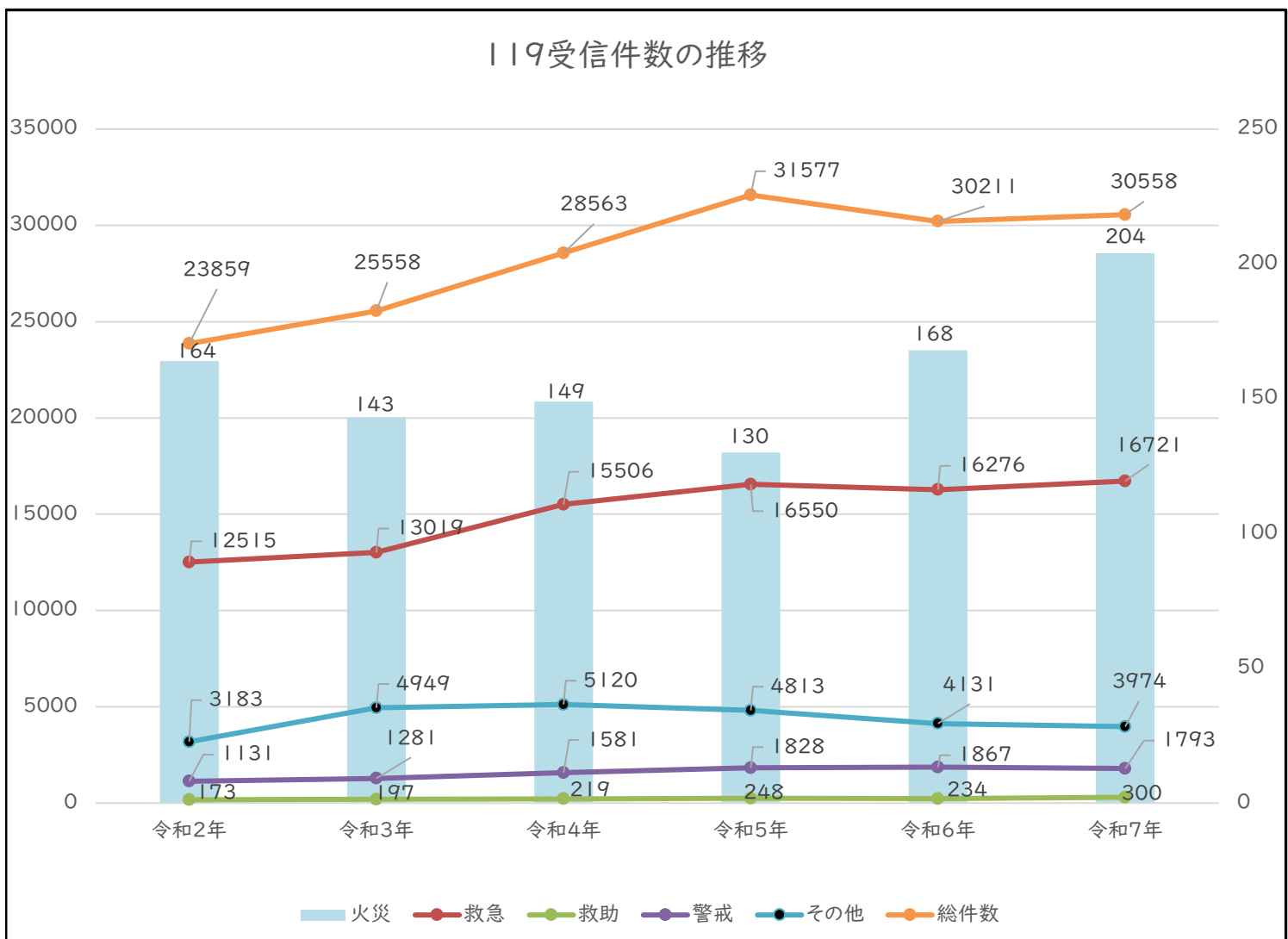
令和7年中

事故種別 \ 市町	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	計
油漏えい	26	3	5	5	3		42
ガス漏えい	2		1	1			4
火災警報器等発報	176	13	20	15	9		233
救急活動支援	1,518	157	216	141	75		2,107
その他	137	24	36	40	12	2	251
計	1,859	197	278	202	99	2	2,637

令和7年中

月種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計(回)	比率
火災	20	2	14	20	31	14	17	18	8	16	28	16	204	0.7%
救急	1,621	1,400	1,365	1,368	1,289	1,340	1,450	1,427	1,343	1,267	1,363	1,488	16,721	54.7%
救助	25	39	27	24	21	28	30	20	14	14	23	35	300	1.0%
警戒	216	179	156	151	136	139	117	126	137	99	164	173	1,793	5.9%
テスト・訓練	243	352	406	204	353	354	249	222	291	381	424	388	3,867	12.7%
間違い・悪戯	201	168	160	145	156	168	149	187	180	169	172	212	2,067	6.8%
各種問合せ	199	140	150	114	97	115	137	150	127	122	143	138	1,632	5.3%
その他	290	293	367	348	312	365	350	334	332	341	313	329	3,974	13.0%
計(回)	2,815	2,573	2,645	2,374	2,395	2,523	2,499	2,484	2,432	2,409	2,630	2,779	30,558	100%

※1 上記件数は、119受信件数であり、災害発生件数とは異なります。
 ※2 「その他」には、転送や陳情、重複通報などが含まれます。
 (重複通報:例) 火災など一つの災害で多数の人が119番通報をすること。



指令センターによる口頭指導件数・口頭指導奏功事例

1 口頭指導件数

令和7年中

指導項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
心肺蘇生法	28	31	22	33	22	21	23	10	23	13	33	41	300
止血法	9	11	11	15	8	16	9	9	15	10	9	9	131
気道異物除去法	5	3	3	5	1		2	1	2	2		3	27
指趾切断手当				1			1			1		1	4
熱傷手当	1	1	0	1						2		1	6
その他（固定、観察、気道確保等）		9	4	3	3	6	3	3	3	3	6	9	52
合計	43	55	40	58	34	43	38	23	43	31	48	64	520

※口頭指導とは、災害通報受信時に、消防局が救急現場付近にある者に、電話等により応急手当の協力を要請し、口頭で応急手当の指導を行うことをいう。

2 心肺蘇生法/気道異物除去法における主な奏功事例

令和7年中

事故概要	指導内容
85歳男性 心肺停止	心肺蘇生法
84歳女性 窒息	気道異物除去法・心肺蘇生法
91歳女性 心肺停止	心肺蘇生法
5歳男児 心肺停止	心肺蘇生法
41歳女性 心肺停止	心肺蘇生法
84歳女性 心肺停止	心肺蘇生法
69歳男性 心肺停止	心肺蘇生法
91歳男性 心肺停止	心肺蘇生法
84歳男性 心肺停止	心肺蘇生法
54歳女性 心肺停止	心肺蘇生法

※上記の奏功事例は、予後調査において社会復帰が確認された症例である。